

令和 7 年度 第 7 回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 令和 7 年 10 月 1 日 (水) 13:30~15:20

2 場 所 大学本館 2 号館 4 階 多目的ホール

3 出席者 (14 名) (敬称略、選出区分順)

学内: 中山、齋藤、長田、矢寺、足立、石丸、立石 (和) 、石田尾、三輪、藤野、樺本
学外: 安元、田中、早川

欠席者 (2 名)

学内: 東

学外: 櫻井

4 報告事項等

(1) 令和 7 年度 第 5 回迅速審査小委員会について

齋藤迅速審査小委員会委員長から、席上配付資料に基づき、迅速審査 6 件について、委員の指摘事項等に関する研究責任者の対応及び修正内容を小委員会委員長が確認したので承認すること並びに本学が共同研究機関である他機関共同研究の中央一括審査の新規申請 4 件について、内容を確認した旨の報告があった。

○新規申請 (迅速審査)

① 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 准教授 大河原 真

研究課題名: 男性更年期障害患者の看護におけるアセスメントの視点に関する研究

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

② 研究責任者: 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 技師 諸岡 健司

研究課題名: 「全自動尿分析装置 AX-4061 におけるビリルビン偽陽性検出機能の検証」

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

③ 研究責任者: 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 主任 西野 達士

研究課題名: 全自動自己生体組織接着剤調製システムにて作製した自己フィブリン糊の使用に関する調査研究

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

④ 研究責任者: 産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 永田 智久

研究課題名: ストレスチェック項目を用いた精神疾患による休業リスク予測モデルの構築と実務応用

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

⑤ 研究責任者: 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 教授 立石 清一郎

研究課題名: 能登半島地震後の自治体職員の健康影響調査

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

⑥ 研究責任者: 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久

研究課題名: 全身健康状態と歯周病との関連性の検証

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

○新規申請（中央一括審査/本学共同研究機関）

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 健康開発科学 講師 姜 英
研究課題名： 加熱式タバコを含めた喫煙による急性影響の可視化に向けた研究
研究代表機関： 愛知学院大学短期大学部
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 産業医実務研修センター 助教 田口 要人
研究課題名： 諸外国における工業用等エックス線装置使用の枠組みおよびその実態に関する調査研究
研究代表機関： 量子科学技術研究開発機構
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： I R 推進センター 准教授 井上 彰臣
研究課題名： ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善に関する調査研究
研究代表機関： 北里大学
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者： 医学部 公衆衛生学 准教授 大河原 真
研究課題名： 男性更年期症状への影響要因の解明－インターネット調査によるコホート研究－
研究代表機関： 秋田大学医学系研究科
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

- (2) 2025年度「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理講習会」の開催について
中山委員長から、資料に基づき、以下のとおり開催する旨の報告があった。

日 時：令和7年10月27日（月） 16:00～17:00

場 所：ラマツィーニホール大ホール

5 審議事項等

- (1) 令和7年度 第6回 産業医科大学倫理委員会議事抄録（案）について
中山委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請（個別審査）

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 教授 立石 清一郎
研究課題名： 女性の健康相談支援体制に関する専門職への調査
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

- 倫理審査研究計画書 4. 実施計画 b) 研究の具体的方法

- ・質問紙調査について、対象人数、内容、個人情報の取り扱い等の記載がない。質問紙調査を実施するのであれば質問紙を提出してもらい、必要があれば再度委員会で審議する。実施しないのであれば、質問紙に係る記述を削除する。

○参加される方への説明文書

5. 研究の方法について

- ・9行目「…個人情報を削除する。」となっているが、他の文はですます調で記載されているので修正する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて

7-2. 研究対象者の負担及び予測されるリスクについて

- ・1行目「時間的拘束（約60分）」とあるが、「5. 研究の方法について」及び研究計画書には「1時間を基本とし最長でも2時間」との記載がある。リスクを記載する箇所なので、長い時間を記載するべきではないか。

12. 個人情報の取扱いについて

- ・3行目「あなたの個人情報は、分析する前にデータの整理簿から、氏名や実際に研究で収集する個人情報を記載】を削り…」という記載を修正する。

② 研究責任者： 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 教授 立石 清一郎

研究課題名： 災害時における産業保健支援チームの制度化に向けた研究

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書 5. 研究対象者の選定方針 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等

- ・「スノーボールプリング方式」の誤記を修正する。

○参加される方への説明文書

5. 研究の方法について

- ・インタビューは1時間を基本とし最長でも2時間であること及び1グループ2~5名であることが研究計画書には記載されているが、説明文書にはないため記載する。
- ・インタビューは「…録音・録画を行い…」とあるが、録画映像の用途について記載がないため、映像を利用する予定であればその用途を記載する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて

7-2. 研究対象者の負担及び予測されるリスクについて

- ・予測されるリスクについて、インタビューの項目内容を不快に感じることに加え、当時の辛い記憶を思い出すことも精神的負担として考えられると記載すべきではないか。

③ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 河村 洋子

研究課題名： 主体性を引き出す会議手法の効果とその活用による取り組みの持続可能性の検証

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

3. 実施概要 1) 研究の背景

- ・参考文献からの引用が多く分かりづらい。「参加される方への説明文書 4. 研究の背景・目的・意義について」も同様である。

○参加される方への説明文書

- ・一般の人が読んで理解しづらいと感じると思うので、分かりやすく記載する。
- ・参加してもらう議論のテーマについて、大枠でよいので示した方がよい。
- 4. 研究の背景・目的・意義について
- ・ブックレットのアクセス方法等を記載した方がよい。

- ・研究内容がメンタルヘルスに関するものであれば、それが分かるような研究課題名に修正する。

④ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 講師 庄司 卓郎

研究課題名： 危険感受性向上に寄与する教育方法について

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

3. 実施概要 1) 研究の背景

- ・7行目「…VRによる危険体感は、…注意喚起につながるが、危険感受性全般を高めるわけではなく…」、10行目「…事故や災害事例を多数知ることが危険感受性を高めるのではないか…」との記載が分かりづらいため、再検討する。
- ・11行目「KY」とは何か分かりづらいため、注釈を付記する。

6. 医学からみた客観的意義

- ・「危険感受性向上教育が明らかになる」、「危険感受性の評価方法が明らかになる」とあるが、明らかになった上でどのような意義があるのかを記載する。

○参加される方への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて

7-2. 研究対象者の負担及び予測されるリスクについて

- ・事故の映像を見ることによる精神的負担があると思われる所以記載する。

○参加者募集のポスター

- ・募集対象が「…定職についていない人」とあるが、実際には学生を想定されているので、例えば「…学生又は大学院生（社会人大学院生を除く）」と記載した方がよい。

⑤ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 講師 山田 晋平

研究課題名： ポモドーロテクニックにおける効果的な休憩方法の検討

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書 9. 研究対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

1) 研究対象者の利益

- ・謝礼（クオカードの提供）についての記載があるが、謝礼は「19.」の箇所に記載すべきであるため削除し、研究対象者にとっての間接的な利益等を記載する。

4) 研究対象者の負担及び予測されるリスクを最小化する対策

- ・「研究対象者の負担に…」の選択肢にチェックが付されているが、「3 研究対象者の予測されるリスク」は「無」となっているので矛盾するのではないか。→選択肢2番目の「目的を限定した…」に修正する。

○参加者募集のポスター

- ・研究計画書には、研究対象者は男性との記載があるため、ポスターにもその旨記載する。

⑥ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 講師 山田 晋平

研究課題名： 暑熱環境におけるコンプレッションウェアの効果の検討

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書 9. 研究対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

1) 研究対象者の利益

- ・謝礼（クオカードの提供）についての記載があるが、謝礼は「19.」の箇所に記載すべきであるため削除し、研究対象者にとっての間接的な利益等を記載する。

⑦ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 助教 竹内 大樹

研究課題名： 市販カメラを用いた作業中の筋骨格障害リスクのリアルタイム「見える化」技術の開発

審査要旨： 審査の結果、「継続審査」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

3. 実施概要及び 4. 実施計画

- ・REBA、OWAS、RNLE、NASA-TLX 等の用語が分かりづらいため、注釈を付記する。「参加される方への説明文書 4. 研究の背景・目的・意義について」も同様である。

5. 研究対象者の選定方針 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等

- ・年齢の基準や中止基準を検討し具体的に記載する。
- ・参加者募集のポスターの掲示場所を記載する。

9. 研究対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 4) 研究対象者の負担及び予測されるリスクを最小化する対策

- ・選択肢2つ目「目的を限定した情報の…」にも該当すると思われるため、チェックを付す。

○参加される方への説明文書

17. 研究対象者等に経済的負担又は謝礼がある場合、その旨及びその内容について

- ・「…交通費等（謝礼）…クオカード4,000円分」とあるが、実験による身体的な負担と交通費を考えるともう少し多い額でもよいのではないか。文章も再検討する。

- ・事後解析補助者を研究対象者の中から選ぶとすれば、研究における利益相反が生じると思われる。事後解析補助者は研究対象者ではなく研究者とするべきであるため、再検討する。

- ⑧ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 助教 竹内 大樹
研究課題名： 情報機器作業時における眼精疲労軽減のための瞬目促進手法の比較検討
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

4. 実施計画 b) 研究の具体的方法
5. 研究対象者の選定方針 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等
 - ・研究対象者について、「視力に大きな問題がなく…」とあるが、具体的に、例えば「視力○○以上」と記載した方がよい。

- ⑨ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 助教 竹内 大樹
研究課題名： 化学防護手袋着用時における手指動作・作業性・疲労の定量的評価に関する基礎的研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書 5. 研究対象者の選定方針 2) 研究対象者の目標人数

- ・「約 40 名」となっているが、研究対象者として想定している産業衛生科学科の学生及び教職員の中でそれだけの人数を無理なく集められるのか、再検討する。

- ⑩ 研究責任者： 産業医科大学若松病院 リハビリテーション部（若松） 技師
渡邊 美結
研究課題名： 腱板断裂術後患者の復職要因の検討
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○研究実施計画書 4. 実施計画 b) 研究の具体的方法

- ・11 行目 「当院整形外科外来受診時の定期フォロー時に、担当療法士が評価を実施する」とあるが、通常の診療で行う検査なのか、当該研究のために行う検査なのか。研究のために行う検査であれば、行う担当療法士も研究者とする必要がある。

(2) 新規申請 (中央一括審査)

○本学代表機関

- ① 研究責任者： 産業医科大学病院 薬剤部 科長 横山 雄一
研究課題名： がん化学療法施行中のがん悪液質患者に対するアナモレリンの使用実態調査
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、確認の上、委員長が提出されたものの内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

- ・医師に対する調査と患者データの調査との記載が混在していて読みづらいため、整

理して記載した方がよい。

○オプトアウト文書

- ・一般的な患者が読んでも理解しづらいため、もう少し簡潔に、分かりやすい表現で記載した方がよい。

- ② 研究責任者： 産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中谷 淳子
研究課題名： 効果的なオンライン特定保健指導の実践内容の妥当性に関する質問紙調査
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
備考： 産業医科大学大学院 医学研究科 産業衛生学専攻 博士課程の大学院生 品川 祐子が委員会出席。

(3) 試料・情報の収集・提供のみの申請

- ④ 研究責任者： 医学部 小児科学 助教 水城 和義
研究課題名： EBV-HLHに対するEBV-DNA定量の意義を明らかにするための後方視的調査
研究代表機関： 信州大学医学部附属病院
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(4) 変更申請（個別審査）

- ① 研究責任者： 産業保健学部 広域・発達看護学 教授 松浦 祐介
研究課題名： 小手術を受けた子どもの家族における退院時の不安と退院後の困りごとについての実態調査
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、確認の上、委員長が提出されたものの内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

- 倫理審査研究計画書 5. 研究対象者の選定方針 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等
・募集方法：「…子どもに対して小手術を実施している全国の病院のうち、無作為抽出により選定…」とあるが、例えば、症例数の多い病院とか、地域ごとにといったような、大まかな選択基準を記載した方がよい。

- 備考： 産業医科大学大学院 医学研究科 看護学専攻 修士課程の大学院生 新川 万里子が委員会出席。

- ② 研究責任者： I R推進センター 准教授 井上 彰臣
研究課題名： 職場における心理社会的安全風土・リスクリングが労働者の健康に及ぼす影響：前向きコホート研究
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ③ 研究責任者： 医学部 神経内科学 教授 足立 弘明
研究課題名： 細胞による神経変性疾患の治療法の実用化に向けた研究
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ④ 研究責任者： 医学部 神経内科学 教授 足立 弘明
研究課題名： ALS患者由来iPS細胞を用いた治療法の開発研究
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 研究責任者： 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久
研究課題名： 男性更年期障害のスクリーニング実装に向けたパイロット研究(2)
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 永田 智久
研究課題名： 我が国における働く人の仕事と健康に関する実態調査
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 永田 智久
研究課題名： 我が国における労働災害・安全文化に関する実態調査
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 永田 智久
研究課題名： 日本の労働災害および業務上疾病の実態調査
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 永田 智久
研究課題名： 企業と健康保険組合とのコラボレーションによる健康管理活動および保健事業の推進のための研究（コラボヘルス研究）
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(5) 変更申請（中央一括審査）

○本学代表機関

- ① 研究責任者： 医学部 衛生学 教授 辻 真弓
研究課題名： 溶接作業者の溶接ヒュームばく露（個人ばく露と生体内ばく露）と健康影響の関係に関する疫学調査
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 講師 石田尾 徹
研究課題名： 放射線業務従事者の放射線防護の最適化
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師 永野 千景
研究課題名： 暑熱環境下にて身体作業時における防暑仕様の電動ファン付き作業服による体温上昇抑制効果
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

6 その他

(1) 研究終了報告 2 件及び進捗状況報告 13 件について、別紙のとおり承認された。

研究終了報告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
ER24-054	立石 和子	基礎看護学	教授	令和6年能登半島地震における派遣看護職が求める活動前の情報ニーズに関する質問紙調査
ER23-037	白山 理恵	小児科学	助教	初等教育・中等教育機関における月経教育・月経相談に関する現状調査

研究進捗状況報告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
ER23-038	落合 信寿	眼科学	助教	後ろ向き症例調査に基づく眼内レンズ脱臼の発症関連要因の検討
ER24-038	山中 芳亮	整形外科学	講師	産業保健データサイエンスセンターのデータを用いたメノポハンドの罹患率・治療介入率の検討
ER23-042	佐伯 覚	リハビリテーション医学	教授	高齢労働者の転倒災害に関する調査－事業所向け調査
ER24-034	石松 維世	作業環境計測制御学	教授	金属加工業従事者における切削剤の汚染原因に対する認識と対策に関する調査
ER24-031	山田 晋平	安全衛生マネジメント学	講師	VDT作業の小休止における軽度の運動が生理指標と作業成績に及ぼす影響の検討
ER24-030	山田 晋平	安全衛生マネジメント学	講師	暑熱環境を想起させる映像による深部体温への影響の検討
ER23-040	山田 晋平	安全衛生マネジメント学	講師	睡眠時間が安全色の探索しやすさに与える影響
ID24-010	永野 千景	産業保健管理学	講師	「暑熱環境下におけるドライアイスまたは保冷剤を付属したジャケットの着用による核心温上昇抑制効果の検討」
ER24-033	藤野 善久	環境疫学	教授	機械学習を用いた職域若年者に対するメタボリックシンドロームの発症予測モデルの開発と予測因子の検討
R2-079	藤野 善久	環境疫学	教授	COVID-19流行下における社会環境と健康に関する労働者調査
R2-059	藤野 善久	環境疫学	教授	睡眠障害の理由と労働機能障害との関連の検討
ID24-009	村上 玄樹	産業医科大学 情報管理センター	副センター長	療養病床における医療の質指標の開発
ER23-037	白山 理恵	小児科学	助教	初等教育・中等教育機関における月経教育・月経相談に関する現状調査